

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日  
上場取引所 東

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社  
コード番号 7991 URL <https://www.mamiya-op.co.jp/>  
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）関口 正夫  
問合せ先責任者 （役職名）総務部長 （氏名）熊手 正浩 TEL 03-6273-7360  
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無： 有  
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	13,215	△35.9	1,938	△63.3	2,176	△60.5	1,572	△60.0
2025年3月期中間期	20,604	74.0	5,275	144.4	5,509	114.5	3,934	117.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,979百万円（△48.8％） 2025年3月期中間期 3,864百万円（90.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	152.26	151.33
2025年3月期中間期	383.11	381.07

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	40,526	26,062	64.2	2,517.24
2025年3月期	40,626	25,120	61.7	2,426.55

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 25,998百万円 2025年3月期 25,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,000	△25.8	3,000	△53.1	3,500	△48.5	3,000	△36.4
								287.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	10,508,670株	2025年3月期	10,508,670株
2026年3月期中間期	180,438株	2025年3月期	180,050株
2026年3月期中間期	10,328,232株	2025年3月期中間期	10,268,674株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的风险や不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」、同じくP. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が景気の緩やかな回復を支えることが期待されるものの、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや物価上昇継続による消費者マインドの下振れリスク等にも引き続き注意する必要があります。

このような経済環境の下で当社グループは、システムソリューション事業の強化を進めつつ、グループの経営資源を有効に活用し、安定的かつ持続的な成長を実現するため、高品質と低コストを兼ね備えた製品の提供や、顧客の抱える課題に対するソリューションの提案に取り組み、更なる企業価値の向上を図ってまいりました。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は132億15百万円（前年同期比35.9%減）、営業利益は19億38百万円（前年同期比63.3%減）、経常利益は21億76百万円（前年同期比60.5%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は15億72百万円（前年同期比60.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### (電子機器事業セグメント)

アミューズメント関連製品につきましては、紙幣識別機の改刷対応の特需が終息しつつある影響を受けましたが、スマート遊技機の設置台数が順調に伸びているため、スマート遊技機用ユニットの売上は堅調に推移しております。

液晶小型券売機につきましては、紙幣改刷による機器入替の特需が概ね終息したことによる影響を受けましたが、8年振りに投入した新型券売機であるVMT620シリーズの開発及び発売に伴う積極的な営業活動の実践、リユース品の販売強化及びレンタル事業の営業促進に継続的に取り組んでおります。

ゴルフ場芝刈機用の自律走行システム「I-GINS」につきましては、新規顧客開拓や既存顧客との関係性構築をはじめとした戦略的な営業活動の実践、提携先と連携した販売体制及び保守メンテナンス体制の強化に継続的に取り組まましたが、前期において発生したベース車両の不具合対応等により、業績は低調に推移いたしました。

システムソリューションにつきましては、AIの研究開発、提携先との連携による受注確度の向上、リソースの適切な配置に取り組ましましたが、ソフトウェアやキャッシュレス対応に関する開発において、顧客側からの計画の後ろ倒し等の影響により、業績は前年同期と同水準で推移いたしました。

モバイルオーダーシステムにつきましては、顧客のニーズに合わせた「CHUUMO」のカスタマイズや、広告掲載媒体の見直し、継続的な代理店開拓による販売チャネルの強化に引き続き注力しております。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は106億33百万円（前年同期比35.6%減）、営業利益は19億42百万円（前年同期比56.8%減）となりました。

#### (スポーツ事業セグメント)

スポーツ事業につきましては、主力製品の「LIN-Q」をグローバルブランドと位置付け、認知度の更なる向上を目指し、国内外での販促活動に注力してまいりました。

国内におきましては、「LIN-Q」ユーザーである海外プロ選手のツアー優勝や、大手クラブメーカーの純正シャフトに採用されたことによるブランド認知度向上を図るとともに、新製品の「ATTAS SPEED」の発売に伴う販売拡大に取り組み、売上高は前年同期と同水準で推移いたしました。

海外におきましては、原材料等の高騰による原価上昇の影響もありましたが、大手クラブメーカーへのOEM受注販売や棒高跳び用ボールの販売について、前年同期と同水準で推移し、利益を計上することができました。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は24億76百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は27百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

#### (不動産事業セグメント)

不動産事業につきましては、新たな収益不動産の購入によるアセット強化及び仲介ビジネスに取り組んだことに加え、保有不動産の貸し出しによる賃料収入の確保等、賃貸物件の収益安定化に取り組んだものの、不動産購入に伴う租税公課の増加、自社物件ビルの建設費用や修繕費用等に加え、前年の特殊要因にも起因し、業績は低調に推移いたしました。

この結果、不動産事業セグメントの売上高は1億5百万円（前年同期比92.7%減）、営業損失は31百万円（前年同期は7億58百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は232億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億58百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が24億45百万円、受取手形及び売掛金が5億80百万円減少したことによるものであります。固定資産は172億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億59百万円増加いたしました。これは主に土地が17億94百万円、投資有価証券が9億14百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は405億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は66億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億72百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が7億31百万円、未払法人税等が6億48百万円減少したことによるものであります。固定負債は77億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億31百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が3億27百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は144億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億41百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は260億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億42百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益15億72百万円の計上があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.2%（前連結会計年度末は61.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の経営成績は、通期業績予想数値に対し50%以上の業績で推移いたしました。紙幣改刷による機器入替の特需が概ね終息していることもあり、下半期は緩やかに推移するものと予想しているため、2026年3月期の通期の連結業績予想並びに配当予想につきましては、2025年5月8日付「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した内容から変更ありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,238,023	11,792,211
受取手形及び売掛金	4,825,707	4,244,720
電子記録債権	155,205	495,896
商品及び製品	2,032,154	1,626,992
仕掛品	1,019,339	889,361
原材料及び貯蔵品	3,657,358	3,583,509
販売用不動産	265,659	265,659
その他	300,143	339,329
貸倒引当金	△3,322	△6,218
流動資産合計	26,490,269	23,231,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,480,746	1,658,966
機械装置及び運搬具(純額)	396,056	360,184
工具、器具及び備品(純額)	139,942	144,805
土地	3,263,858	5,058,377
リース資産(純額)	271,609	226,930
建設仮勘定	146,681	384,508
有形固定資産合計	5,698,894	7,833,771
無形固定資産		
その他	240,852	232,500
無形固定資産合計	240,852	232,500
投資その他の資産		
投資有価証券	5,991,783	6,906,566
長期貸付金	648,054	624,657
出資金	1,009,112	1,172,480
繰延税金資産	61,830	39,888
その他	493,737	493,497
貸倒引当金	△8,525	△8,525
投資その他の資産合計	8,195,992	9,228,565
固定資産合計	14,135,739	17,294,837
資産合計	40,626,008	40,526,299

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,869,455	1,881,636
電子記録債務	1,729,775	997,938
短期借入金	305,000	200,000
1年内償還予定の社債	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,883,272	2,239,998
未払法人税等	1,278,189	629,763
賞与引当金	117,798	118,568
その他	973,653	416,375
流動負債合計	8,157,146	6,684,281
固定負債		
社債	900,000	700,000
長期借入金	4,804,009	5,131,492
繰延税金負債	329,618	619,763
役員退職慰労引当金	45,110	41,575
退職給付に係る負債	1,003,583	984,001
その他	265,856	302,470
固定負債合計	7,348,179	7,779,302
負債合計	15,505,325	14,463,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,804,323	4,804,323
資本剰余金	1,030,685	1,030,685
利益剰余金	17,430,249	17,958,966
自己株式	△259,404	△260,009
株主資本合計	23,005,853	23,533,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	783,637	1,378,161
繰延ヘッジ損益	△22,746	△11,611
為替換算調整勘定	1,296,191	1,098,075
その他の包括利益累計額合計	2,057,083	2,464,625
新株予約権	47,320	53,935
非支配株主持分	10,425	10,190
純資産合計	25,120,683	26,062,715
負債純資産合計	40,626,008	40,526,299

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	20,604,891	13,215,155
売上原価	13,322,159	9,245,523
売上総利益	7,282,732	3,969,631
販売費及び一般管理費	2,006,961	2,031,310
営業利益	5,275,770	1,938,320
営業外収益		
受取利息	22,216	38,173
受取配当金	50,948	79,778
出資金運用益	126,572	203,168
持分法による投資利益	126,699	91,432
その他	30,010	5,098
営業外収益合計	356,447	417,651
営業外費用		
支払利息	38,279	49,345
為替差損	78,140	123,838
その他	5,818	6,783
営業外費用合計	122,239	179,968
経常利益	5,509,977	2,176,003
特別利益		
固定資産売却益	—	737
特別利益合計	—	737
特別損失		
固定資産除売却損	293	1,247
特別損失合計	293	1,247
税金等調整前中間純利益	5,509,684	2,175,493
法人税、住民税及び事業税	1,415,169	557,525
法人税等調整額	160,461	45,639
法人税等合計	1,575,631	603,165
中間純利益	3,934,053	1,572,328
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	37	△235
親会社株主に帰属する中間純利益	3,934,015	1,572,564



## (中間連結包括利益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	3,934,053	1,572,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△400,373	564,402
繰延ヘッジ損益	△30,256	11,134
為替換算調整勘定	351,487	△198,116
持分法適用会社に対する持分相当額	9,805	30,121
その他の包括利益合計	△69,337	407,542
中間包括利益	3,864,715	1,979,871
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,864,678	1,980,106
非支配株主に係る中間包括利益	37	△235

## (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,508,081	2,641,291	1,455,519	20,604,891	—	20,604,891
セグメント間の内部売上高又は振替高	120	25	1,026	1,171	△1,171	—
計	16,508,201	2,641,316	1,456,545	20,606,062	△1,171	20,604,891
セグメント利益	4,495,576	21,437	758,756	5,275,770	—	5,275,770

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,633,304	2,476,423	105,427	13,215,155	—	13,215,155
セグメント間の内部売上高又は振替高	120	20	455	595	△595	—
計	10,633,424	2,476,443	105,882	13,215,750	△595	13,215,155
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,942,723	27,153	△31,555	1,938,320	—	1,938,320

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。